

# H30「みらい塾」学びの足跡



第1回 8月26日(日)

## 開講式

厳かな雰囲気の中、開講式を挙行了しました。塾生代表が、力強くみらい塾参加への決意を述べました。



昨年度から引き続き受講している塾生も44名います。昨年度からの仲間、チューターだった指導主事と和やかに談笑する姿も見られました。

304室は、教師を志すフレッシュな情熱に包まれていました。

### 【エントリーシートより】

昨年度は予定が合わず参加できなかったのですが、今年こそはと思って楽しみにしています。大学での説明会や、昨年参加した友人から、教師になるために必要な知識や技術だけでなく、同じ志をもつ仲間との交流や先輩方からの熱い指導を受けられると聞いたので、私もこのみらい塾でしっかり学び、自信をつけたいと思います。

## 教育長講話

### 「意外とイイ！kitaQ～あなたの情熱をこのまちの子どもたちに」



北九州市の「意外とイイ！」まちの魅力や、「あなたを一人ぼっちにさせない」教育施策などについて、スライドや動画を交えながらお話しいただきました。

### 【振り返りシートより】

垣迫裕俊教育長のお話や柔らかな雰囲気、肩が軽くなりました。また、北九州市の現場の先生方が働きやすいようにするための創意工夫された施策を知ることができ、とても心強く感じました。

☆H30 年度塾生 208名

- 学生 161名
- 講師 43名
- その他 4名

☆塾生所属大学

- 福岡教育大学
- 梅光学院大学
- 九州女子大学
- 西南女学院大学
- 中村学園大学
- 九州共立大学
- 下関市立大学
- 北九州市立大学
- 福岡県立大学
- 西南学院大学
- 山口大学
- 広島文教女子大学
- 鹿児島大学
- 宮崎大学
- 佐賀大学
- 長崎大学

他多数



# 「子どもつながりプログラム体験-すごろくトークン-」



みらい塾では、チューター（担任）制をとっています。これから一緒に活動するグループでの仲間づくりと、北九州市ならではの対人スキルアッププログラム「子どもつながりプログラム」の体験を目的に、「すごろくトークン」を行いました。

## 【振り返りシートより】

「子どもつながりプログラム」を体験して、他の塾生のことをたくさん知ることができ、安心しました。この安心感を子どもたちにも味わってほしい、そのように感じた時間でした。

## 懇談「先輩に学ぼう」



現在大学等で学んでいる塾生に対しては、みらい塾1期生の新採教諭の皆さんが、学校の様子や仕事のやりがい、採用試験の経験談など、話してくださいました。

講師として現場で勤務している塾生に対しては、日頃の教育活動に関する悩み、疑問等に指導主事が答えました。

## 【振り返りシートより】

新採教諭の先生方は歳も近く、質問しやすかったし、今の自分の不安や悩みなども真剣に感じ取ってくれたので、とてもためになりました。実際に、これまでは何をすればよいか分からなかったのですが、自分の未来が少しずつはっきりと描かれていっているように感じ、ワクワクする気持ちが大きくなってきました。

# 「学級開き体験-自己紹介をしよう-」



みらい塾1期生の先輩教諭も参加して、学級開き体験「あいうえお作文」で自己紹介を行いました。昨年度学んだことを活かして2期生のお手本となっている姿に、確かな成長が感じられました。初めて体験する2期生も、緊張しながらも、子どもたちとの出会いの場面を想定した自己紹介を様々に工夫して行っていました。

## 【振り返りシートより】

学級開きは担任をもったときに必ず行うことで、大切な時間であることは分かっていたのですが、実際にどんなことをすればよいか分かっていなかったため、講話を聞いたり実際に体験したりすることでポイントをつかむことができました。自分らしさを自信に変えて、子どもたちの前に立てそうです。



第2回 9月9日(日)

## 「子どもつながりプログラム」体験



前回の体験よりも、さらに教師として授業を行うときのポイントについて考えながら体験しました。子どもの立場で協力しながら行うこと、教師の立場で指導の際の有効な手だてについて話し合うことを目標に、「いろいろな人が住むマンション」と「南極探検」の体験を行いました。

### 【振り返りシートより】

子どもたちの対人スキルアップを図る方法を学べたことがよかったです。しかし、プログラムをただ実施すればよいだけでなく、そこには、うまくいくように教師の仕掛けや手だてが欠かせないことが分かりました。有効な手立てについて、グループの仲間の意見をたくさん聞くことができたので、自分の引き出しが増えました。

## 「子どもとのかかわり方-教師のしおり WEB-



kitaQ せんせいチャンネルに掲載している「教師のしおりWEB」を使って、「教師」として子どもたちとどのように接すればよいのか、考えました。

### 【振り返りシートより】

アニメーションを見ることで、教師の何気ない振舞いを客観的に振り返ることができました。無意識にしている行動、言葉が、子どもたちに多大な影響を与えていることに気づき、身が引き締まる思いでした。

## ロールプレイング「電話対応」「子どもとの接し方・ほめ方」



「電話対応」「子どもとの接し方・ほめ方」について、実際の場面を想定し、対応をロールプレイングでやってみました。頭では分かっているけど、実際にやってみることは難しく、多くの塾生が悩みながら行っていました。やってみることで、誠実な対応の大切さが実感できたようでした。

### 【振り返りシートより】

学校に関係する人は多種多様で、その人の背景や性格など多くのことを感じ取りながら、信頼関係を築くことに難しさを感じました。特に「ほめること」は、頭で考えるよりも難しかったです。「習うより慣れる」の精神で、どんどん子どもをほめたいです。

第3回 10月21日(日)

## ☆黒崎中央小学校（小学校・栄養教諭）

### 模範授業・模擬授業



マイスター教員、学力向上推進員、指導主事の先生方が「授業づくり5つのポイント」を踏まえた模範授業をしてくださいました。その後、先生方の真似をして、模擬授業に取り組みました。

#### 【振り返りシートより】

マイスターの先生の授業は、私自身も揺さぶられました。私も、あのような素晴らしい発問ができるように勉強したいです。実際に模擬授業をしてみると、さっき見た授業なのに、頭が真っ白になって自分が何を言っているか分からなくなりました。もっと経験を積んで、慣れないといけないと思いました。

## 先生体験



先生になって、意外と難しいのが黒板に字を書くこと「板書」とマジックで模造紙などに字を書くことです。チョークの持ち方、定規で線を引くときのルール、マジックをにぎる位置などを学びました。児童が読みやすい字になるようにお互いにアドバイスしながら練習しました。



## ☆穴生中学校（中学校）

### 模範授業・模擬授業



中学校でも、市内の先生方に社会科、理科、外国語科、道徳科の模範授業を行っていただきました。その授業の一部を模擬授業として体験しますが、なぜかうまくいきません。「なぜ？どこが違う？」と悩み、仲間と共に考え抜く中で、授業力が向上します。みらい塾では、教師になった後の学び方も体験できるようにプログラムを組んでいます。

#### 【振り返りシートより】

プロの先生方の授業に圧倒されました。模擬授業では、受けているときは簡単そうだったけど、実際にやってみると、生徒の意見をどう引き出すのか、いつ教具を使うのか、難しいことだらけでうまくいきませんでした。生徒にとって楽しい授業をめざして、仲間の意見を取り入れ、考え、経験を重ねたいです。



## 教室環境を見学しよう

教室や廊下の掲示物について見学しました。工夫とその理由を考え、ユニバーサルデザインについて学びました。



### 【振り返りシートより】

教室前面の掲示をシンプルなものにし、後方の掲示を学級独自のものにする、学校統一のハンドサインの導入など、誰にでも分かりやすい、安心できる環境になっていると知りました。

## ☆小倉南特別支援学校（特別支援学校・養護教諭） 校内見学（発達段階に応じた支援、安全・衛生な環境づくり）



### 【振り返りシートより】

発達段階に応じて支援が違うのは、子どもたちが社会に出る準備、自立のためと知りました。私が子どもに接するときも、その子の課題を意識して、支援しすぎないことにも注意しないと分かりました。

## 模範・模擬授業（特支）



生活単元「おまつり名人」の模範授業をしていただきました。授業の行い方に加え、T2、T3の先生方がそれぞれどのような動きをされると、効果的に支援ができるのかということを知りました。

### 【振り返りシートより】

先生方が練りに練って授業を作られていることがすごくよく分かりました。見るだけでなく、やってみてこそ分かることがあると思いました。普段、他の先生からアドバイスを受けることが少ないので、貴重な体験でした。

## 保健管理「発育測定・模擬職員会議体験」（養護教諭）



前半は「発育測定、視力測定を小学1年生に実施」という設定で行いました。児童役も「私語が多い」「離席が多い」などの設定をし、より簡潔で分かりやすい指導をめざしました。後半は「職員会議で内科検診、歯科検診の提案をする」設定で行いました。



### 【振り返りシートより】

低学年には、自分が思っている以上に分かりやすく細かい説明が必要になってくると思いました。子どもの目線になることの大切さを考えました。児童役から自分が思ってもいない反応が返ってきたとき、どうすればよいのか焦りました。でも、みんなからアドバイスをもらって、落ち着いて対応すればよいこと、担任の先生と事前に打合せをすればよいことが分かって安心しました。職員会議では、当日、スムーズに行えるような説明が必要だけど、大切な時間を使わせていただくので、短く分かりやすく伝える必要があることを学びました。

## ☆道徳科の授業づくりを体験しよう(小・中)



道徳科の授業づくりのポイントについて学んだ後、小グループに分かれて模擬授業をしました。kitaQ せんせいチャンネルに掲載の「授業づくり動画」を真似てやってみましたが、発問や子どもの意見の生かし方など、なかなか思うようにいかず、苦戦していました。模擬授業の後は、グループでアドバイスをし合い、課題や改善点を話し合いました。



模擬授業体験にじっくり取り組み、授業づくりや実際の授業の難しさを垣間見ることのできた一日でした。



### 【振り返りシートより】

子どもの前に立って授業をするにあたり、たくさん不安がありました。特に道徳科の授業は難しいと感じていましたが、皆のよいところを真似したり、自分の課題を知ったりすることを通して、少しやってみたくなりました。

## ☆個に応じた支援を考えよう(特支)



前回、小倉南特別支援学校で参観した先輩の授業を「個に応じた支援」の視点で考えました。指導案どおりに授業を進めるだけでなく、児童生徒の実態を捉えた手だてを考えること、自立への道筋をつくることの大切さを実感しました。

### 【振り返りシートより】

子どもの実態によって、授業の進め方も支援の在り方も変わってくるのが分かりました。また、実際に子ども役をすることで、子どもの困り感にも気づき、「個に応じた支援」の大切さを改めて実感することができました。

## ☆養護教諭・栄養教諭の役割を考えよう(養護教諭・栄養教諭)

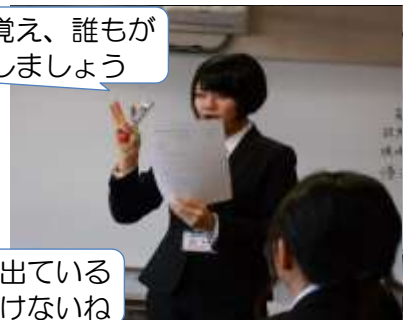


初対面の保護者に、多くの項目を確認するのは難しそうだな



ITの使い方を覚え、誰もが命を救えるようにしましょう

アフラキナーシックの症状が出ている子から目を離したらいけないね



「保健室だより」「食育だより」の作成、アレルギー対応のための保護者面談、緊急対応のための職員研修…様々な場面を設定し、実際に行ってみることを通して、学校の中で養護教諭や栄養教諭の果たす役割の大きさを実感することができました。

### 【振り返りシートより】

保護者との細かい確認はもちろん、全職員で情報を共有する大切さを学びました。養護教諭は命を守る最前線と考え、正しい知識、最新の知識が必要だと痛感しました。これからも学び続けようと決意しました。



## ☆夢を語り合おう（教育委員会事務局との懇談）



小グループに分かれ、教育委員会事務局の方々とは夢を語り合いました。「子どもが毎日楽しいと感じるのは、どんな学校・学級か」「厳しい先生、優しい先生って、どんな先生か」など、テーマに沿って語り合いながら、事務局の方々の経験談をたくさんうかがうことができました。この懇談を通して、塾生の多くが自分の目指す教師像を明確にすることができたようです。

### 【振り返りシートより】

4月から子どもたちの担任として赴任することに不安でいっぱいでしたが、もう一度子どもたちと一緒に楽しい学級をつくりたいという、自分の初心にかえることができました。また、先生方の温かい言葉に助けられ、北九州市で頑張っていけそうだという自信をもつこともできました。

## ☆閉講式

垣迫教育長より、それぞれの代表者に修了証と皆勤賞が手渡されました。今年度は148名に修了証、60名に皆勤賞が授与されました。また、塾生代表が、みらい塾で学んだこと、来年度新採教諭として子どもたちの前に立つ決意を述べました。垣迫教育長からは、みらい塾で培った縦と横のつながりを大切にするをはじめ、一人で悩まずSOSを発信する大切さについてのお話がありました。



### 【振り返りシートより】

教育長のお話の中で、「困ったことがあったら一人で抱え込まず、必ず誰かに話してください」というお言葉が心に残っています。不安や悩みを分け合い、助け合うことが何よりも大切で、そのためのつながりをこのみらい塾でつくることができました。学校現場に出る時が近づいてきました。気持ちを引き締めて準備していきたいです。

## ☆給食試食会

栄養教諭のサークル「1cmの会」の皆さんが、朝から給食を作ってくださいました。北九州市の野菜をたくさん使った温かい給食を食べながら、会話が弾み、縦と横のつながりがさらに深まるひとときとなりました。



（調理の様子）

### 【振り返りシートより】

給食を食べながらだったので、心を開放して事務局の先生方ともお話ができました。一緒に食べることで、よりつながりを深めることができ、食事の時間の大切さを知りました。また、日々給食を作っているの方々とお話ができ、給食に対する熱意や食育において担任が果たすべき役割について話をすることができました。「チーム学校」という意味を実感することができました。